

# 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		動物園
	03	03	01	04	01	

政策
動物園再生

## 政策の内容

動物福祉に配慮した獣舎の改修や再整備を進めるとともに、休憩所等の便益施設の充実やいのちの大切さを伝え環境問題等の理解を深める教育の拡充等に取り組めます。  
市民や市内の事業者と協働して、動物園の再生を目指した取組を進めます。

## 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設(医療・福祉、買物、文化、公共交通、公園など)は充実していると感じますか。	3.07	3.04				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

## 現状・課題

平成28年に策定した「浜松市動物園再生基本計画」に基づき、令和3年3月のいのちのふれあいゾーンの開設(現:動物ふれあいエリア)やトイレ新設など便益施設や獣舎の整備を進めてきたが、以下の課題への対応が必要な状況である。

- ・動物福祉向上の考え方に基づく獣舎への対応が不十分である。
- ・来園者に不評な、園路の高低差(坂道)と、休憩場所不足の解消が急務である。
- ・ゾウ舎等の複数の獣舎が空いたままとなり、園全体の魅力低下の要因となっている。
- ・市内の幼稚園等の遠足や校外学習の多くが、近隣の動物園へ流出している。
- ・「環境教育」や「いのちの教育」の充実が必要である。

そのため、官民連携による動物園魅力向上を推進し、来園者等の安全・安心に配慮した整備事業を進めることにより、動物園再生を目指す。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	618,611	532,479			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	28.8	30.8			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	5.6	5.6			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
動物園施設維持 管理事業	市民の憩いの場として、来園者が安全、安心、快適に利用できるように園内施設の維持管理を行う。 動物が健康に過ごせるよう動物福祉に配慮した飼育を行っていくとともに、展示や解説、繁殖や種の保存についても積極的に進める。 ・園内施設・設備等の維持管理及び業務委託 ・動物の飼育・展示 ・絶滅危惧種、希少動物の飼育、繁殖及び調査研究 ・種別繁殖計画への参加 ・消耗品、備品等の購入	187,959
いのちの教育事 業	動物園で飼育する動物を通して、いのちの大切さを伝える教育を推進するとともに、地球温暖化等により動物たちの生息環境が脅かされている現状などを伝えることで環境保全の必要性を伝える環境教育についても実施していく。	735
各種イベント開催 事業	来園者が楽しんで参加できる動物に関連したイベントの実施により、展示動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護、自然保護に対する意識を高めてもらうことを目的とする。 イベント等内容 ・特別企画イベント ・担当飼育員による動物ガイド ・障がい者とその家族を対象としたドリームイブニング ・各動物の記念イベント ・季節の行事に関連したイベント ・写生大会(春・秋)、園内で撮影した写真コンクール ・夜間開園時間の延長によるナイトZOO ・動物園ボランティア育成 等	8,247
傷病野生鳥獣保 護事業	静岡県からの委託を受けて、怪我や病気の野生鳥獣を保護治療し、可能なものは自然へ復帰させることにより自然環境や生態系の保全に寄与する。	959
動物購入事業	種の保存や動物福祉の向上を進めていくため飼育動物コレクションプランを基本に、新しく導入をしていく動物や、死亡動物に代わる動物、繁殖を進めるための動物等を導入する。 また、他の動物園と協働して、希少動物の繁殖等を図るため、動物の移動を実施する。	9,200
動物園施設整備 事業	動物福祉に十分配慮できていない獣舎や老朽化が進む園内施設を計画的に修繕し、動物園の魅力向上を図る。 主な事業 ・園路整備工事実施設計業務 ・旧ふれあい棟解体工事 ・正門修繕工事実施設計業務 ・給排水設備等改修工事	325,379

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
動物福祉に則した獣舎改修整備率(%)	動物福祉の向上のための施設整備を実施する。	動物福祉向上のための施設増加を測る指標であり、実績値の達成により動物の福祉が保たれた獣舎数向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	23	27	31	35	39
			実績値	19	21				
			達成率	-	91%				
来園者にやさしい便益施設整備率(%)	来園者が過ごし易い施設とするための施設整備を実施する。	来園者のサービス向上に寄与した施設を測る指標であり、実績値の達成によりリピーター増加に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	10	15	20	25	30
			実績値	5	11				
			達成率	-	110%				
教育活動実施回数(回)	出前講座、教育プログラム、ふれあい体験、職場体験、飼育実習等の教育活動の実施回数 ※実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	教育施設として貢献度を測る指標であり、実績値の増加によりいのちの教育や環境保全等の普及啓発に寄与していると思込んでいる。	目標値	-	130	135	140	145	150
			実績値	128	139				
			達成率	-	107%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
動物園の入園者数(人)	動物園の総入園者数 ※実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	動物園再生基本計画に基づき、種の保存、動物福祉の向上、環境教育の推進を図るとともに、リピーターを増やす等、入園者数の増加を目指す。この指標の向上により来園者の満足度向上につながっていることを想定している。	目標値	-	350,000	365,000	380,000	395,000	410,000
			実績値	301,701	308,394				
			達成率	-	88%				
教育活動参加人数(人)	出前講座、教育プログラム、ふれあい体験、職場体験、飼育実習等の教育活動の参加人数 ※実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	教育施設として市民が学び体験した人数の実績値の増加によりいのちの教育や環境保全等の教育に貢献していることを想定している。	目標値	-	6,700	6,800	6,900	7,000	7,100
			実績値	6,643	6,286				
			達成率	-	94%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
公園を月1回以上利用する 人の割合(%)	○	緑の基本計画におけるアン ケート実施による市民意識 調査。	実績値	31.6	25.9					50.0 (2030 年度)
			達成率	63.2%	51.8%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

まち全体にみどりがあふれ、公園や緑地がこどもの遊び、育ちの場や市民の生きがい創出の場となっている。

**【2026年度の評価】**

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<div data-bbox="427 752 920 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	<div data-bbox="494 1487 986 1561" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載